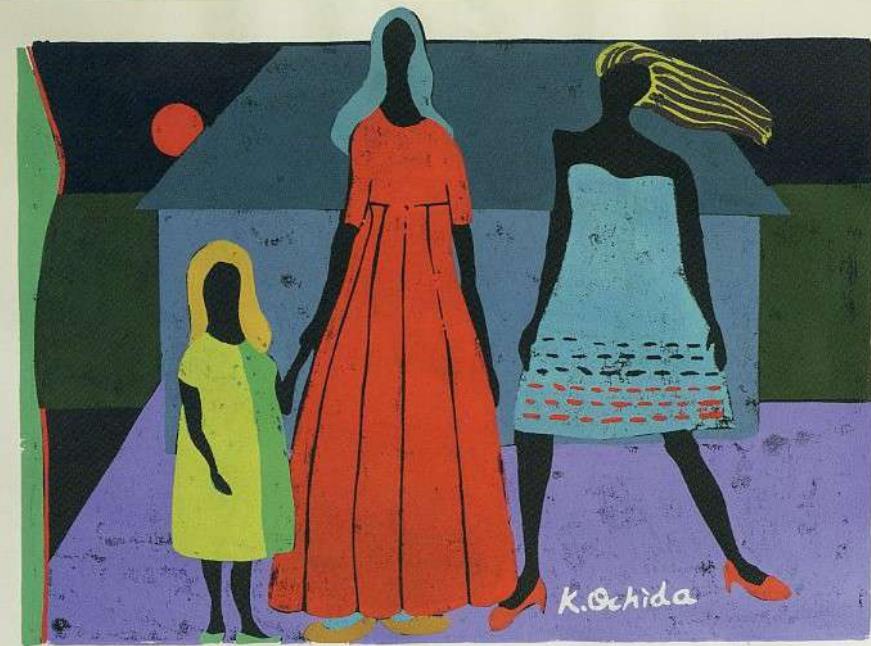


原爆
Hiroshima

HIROSHIMA

HIROSHIMA
原爆の日



2022(上)

家族

落田 克二

家族で過ごす日々が、何よりのやすらぎである。そのようないい家族でありたいものだと日々思う。

表紙



◆題字……………大木 茂

◆ギャラリー……………高山 博子

迫田 勝明

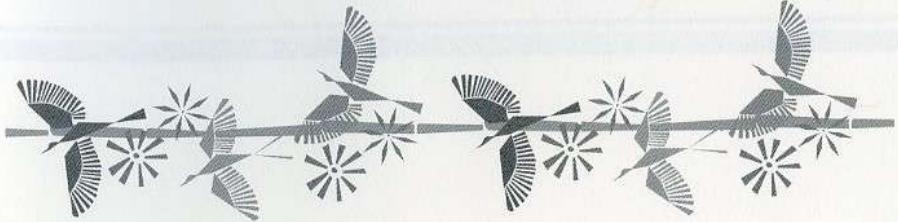
椎木 剛

加田 佳子

ペ
ン
HIROSHIMA
2022(上)

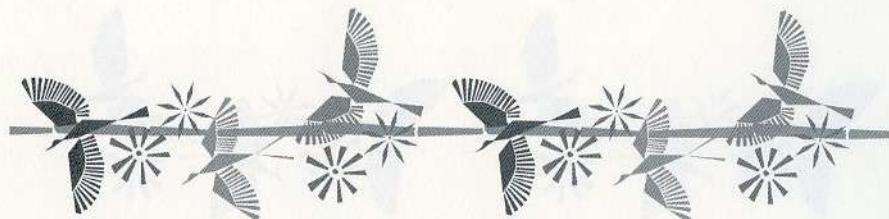


広島ペンクラブ

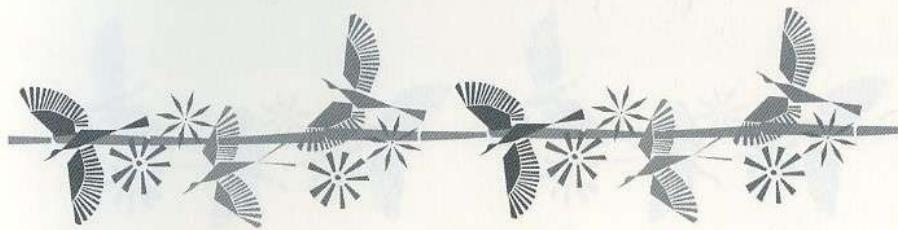


目 次

梶川 咸子	いつまで続くウイズコロナ？	11
梶矢 文昭	バツハ会長に会えて	12
木矢 克造	恩師の死を見つめて	13
切明千枝子	昭和残照	14
熊野 良樹	ご先祖様、三業惑乱の渦中に（六）	15
桑原 美紀子	ことばから感覚が捨てられた（二）	16
迫田 勝明	コロナ対策について考える	17
塩田 恭子	私の美しき名前	18
世木田 寛子	カサブランカとSDGs	19
高崎 宗利	思い出すお世話になつた人々（その一）	20
多田 多延子	キセキの開催「子ども世界平和サミット」	21
田中 博	高上がり	22
田渕 佳恵	チヤンスの神様と〇・三秒の「ハイ」	23
寺尾 邦昭	私と白バイ	24
土井田 泰	新型コロナにみる「おかしなこと」への疑問の数々	25
土肥 雪彦	修道医会文化功労賞 受賞して想うこと	26
富沢 佐一	南岩国駅	27
内藤 文雄	わが雌伏のとき 中央書店創業前夜（二）	28
夏目 康文	クルマ・くるま・車	29



難波	紘二	東京オリンピックに思う 1 給食ボイコットと「戦犯旗」	30										
二宮	基樹	死闘	31										
新田	和雄	共棲主義・シンビオシズム	32										
野村	寿子	願望・I wish	33										
加田	佳子	仮定法	32										
渡上	尚	冷たい風が通り過ぎた暑い夏（十六）	34										
		シリーズンニエビソード1「環境カクテル」	35										
笠森	勇	招待席 堀田善衛とヒロシマ	36										
平木	滋	命かぎりあり	38										
福田	康彦	走る	39										
穂高	健一	恐怖のサイレン	40										
円	卓子	ほりごたつ	41										
松本	洋二	『論語』雜感 君子之過也如日月之食焉	42										
		丸子ようこ 恩師の道しるべ	43										
三宅	恭次	フランス取材行・書き置き⑧	44										
望月	澄男	忘れられない小さな美術館三つ	45										
森	重昭	広島にあるA級戦犯の墓	46										
森田	昌樹	せいくらべ	47										
本郷	松柏	無人島「ひよっこりひょうたん島」の入札顛末記	48										
49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	36	35

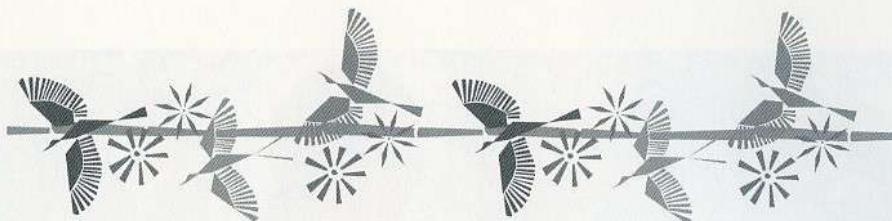


山下 江 生物学的寿命の半分を生き抜いて 13

「自由と責任」の修道中学高校時代(4)

授業

山本 修	盆踊り(その一)	50
吉中 康麿	恩師の言葉と私の進んだ道	51
吉村 淳	コロナ禍の風景	52
渡辺 玲子	「ドイツの森」岡山・東京	53
浅田 護	泣き虫Sちゃん	54
足立 柳子	スマホデビュー	55
天野ひと恵	広島と東京の二拠点生活をつなぐ『漱石』	56
石井 康隆	米寿の祝い	57
石崎 文子	多様性は何処にある	58
石田ひろとし	Guide-Runner(伴走者)	59
	コスマス	60
伊藤 秀輔	文学と私(その1)	60
今田 笹舟	ヒロシマ忌	61
上杉 裕子	手袋	62
江川 政昭	吉和のアカショウウビンと田中一村	63
袁 葉	踏青(Ⅱ)	64
大谷 育平	徐福と巣島	65
沖野 恵子	ムベなるかな	66
小野 由子	超える	67
		68



梶 杏子	……臭いのしないオナラ	にお
米門 公子	……夢	
有田 博司	……にぎやかな仲間たち	
坂木 善子	…… <small>おなじ</small> 年	同じ年
西村 哲郎	……こころのアルバム	
升元 浩信	……静かな職場	
落田 克二	……ウイスキー考	
運営委員会	だより	
事務局	だより	
編集人記		
広島ベンクラブ規約		
次号原稿募集の案内		
会員募集のご案内		
編集の一と		
文学ツウの話		

91 90 84 83 81 80 78 76 75 74 73 72 71 70 69